

西木・神代地域で 地域公共交通の再構築に向けた 意見交換会を開催します



これまで

羽後交通バス「松木内線」「岡崎院内線」が運行されていますが、利用者が年々減少し、区間廃止や減便を余儀なくされるなど、利便性低下に加え運行継続していくことも大変厳しい状況になっています。

一方で、市民の皆様には、地域によって駅やバス停までの距離が1キロ以上離れていたり、高齢化に伴い将来の外出行動に不安を感じている方が多いことが課題となっています。

これから

長寿社会への対応や両地域の道路事情を考りよすれば、「路線バス」に替えて「デマンド型（予約制）乗合タクシー（下記参照）」を導入することが、将来の利便性向上と事業運営の安定化を期待できる有効な手法と考えています。

住居地域	現在	構想（平成24年4月）
上松木内字戸沢 西明寺字小山寺	○路線バス「松木内線」 ○松木内地区 デマンドタクシー	○西木北部地区 デマンドタクシー
小山田字鎌足 小松字本町	○西明寺地区 デマンドタクシー	○西木南部地区 デマンドタクシー
岡崎字神成沢 小松字羽根ヶ台 ※生保内線沿線は除く	○路線バス「岡崎院内線」	○神代地区 デマンドタクシー

そこで

未来を見据えた新しい交通システムを、地域の皆様と協働で創りたいと考えて、下記の構想をたたき台として意見交換を進めていきます。



※「デマンド型（予約制）乗合タクシー」とは

路線バス並みの低料金で、タクシーのように出発地から目的地まで比較的自由に移動できる新しい公共交通システムです。仙北市では、白岩地域で、平成19年度に秋田県で初めて本格導入し、現在では利用方法も定着し、地域住民の日常生活の足として通学や通院に広く利用されています。

現在は、白岩地域のほか西明寺、松木内地区でも導入しています。

問合せ

企画振興課地域交通支援係
電話（43）1112

意見交換会

日時（午後7時～）	会場
7月28日（木）	神代（就業改善センター）
7月27日（水）	上松木内（紙風船館）
7月26日（火）	松木内（松木内地区公民館）
7月25日（月）	西明寺（西木公民館）

※交通手段が無くご来場が困難な方は、7月22日までにご連絡いただければ送迎します。

【第1次試験日時・場所】

9月18日（日） 10:00～12:00
ノースアジア大学（秋田市下北手桜字守沢46-1）
*第2次試験は、第1次試験の合格者に通知します。

【試験方法】

- 第1次試験（教養試験）
 - ①上級／大学卒業程度の一般的知識・知能についての筆記試験
 - ②初級／高等学校卒業程度の一般的知識・知能についての筆記試験
- 第2次試験（第1次試験合格者＝上級、初級共通）
 - ・個別面接により人物についての口述試験
 - ・文章表現力などについての作文試験
 - ・健康診断書による職務に必要な健康度についての身体検査

【試験区分・採用予定人員・受験資格】

①上級一般行政／若干名
昭和57年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた人。または平成2年4月2日以降に生まれた人で大学卒または平成24年3月卒業見込の人。

②初級一般行政／若干名
昭和61年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人で短期大学卒業者を含みます。ただし、4年制大学卒業者（見込みを含む）は受験できません。

【申込用紙の請求】

申込用紙・受験案内は、7月20日（水）から、田沢湖庁舎は総務部総務課、角館庁舎と西木庁舎は各地域センター窓口で交付します。

郵便請求の場合は、封筒の表に「職員【上級または初級】採用試験申込用紙請求」と朱書きし、あて先を明記して140円切手を貼った返信用封筒（角型2号サイズ）を必ず同封して、総務部総務課職員係へお送りください。

【申込手続き】

申込書と自己紹介書に所要事項を全て記入し、申込書の受験票部分には最近撮影した上半身、脱帽、正面向き、縦6センチ、横4.5センチの写真1葉を貼って、仙北市役所総務課職員係宛に提出してください。
*角館地域センター、西木地域センターでは受付しません。

【申込受付期間】

8月3日（水）から8月24日（水）まで
（土・日曜日を除く、8:30から17:00まで）

*郵送の場合8月24日必着

【申込・問合せ】

仙北市総務部総務課職員係
〒014-1298 仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30番地
☎0187-43-1111

平成23年4月に採用された職員



観光商工部観光課
佐々木 一総

観光課施設係として、駐車場やトイレ・看板および抱返り溪谷の遊歩道や駒ヶ岳の登山道等の整備をしています。震災の影響で当地に観光で来られるお客様は少なくなっていますが、このようなきだからこそやさしい上司や先輩方とともに、観光地としての仙北市の魅力向上に努めています。

税務課で固定資産税を担当しています。土地・家屋・償却資産など、専門知識や経験が必要とされたり、窓口や電話対応など市民と接することが多かったりと、毎日が刺激がありやりがいを感じます。まだわからないことばかりですが、たくさん学んで、市民の期待に応えられる職員になれるよう、精一杯努力していきます。



総務部税務課
高橋 直人

